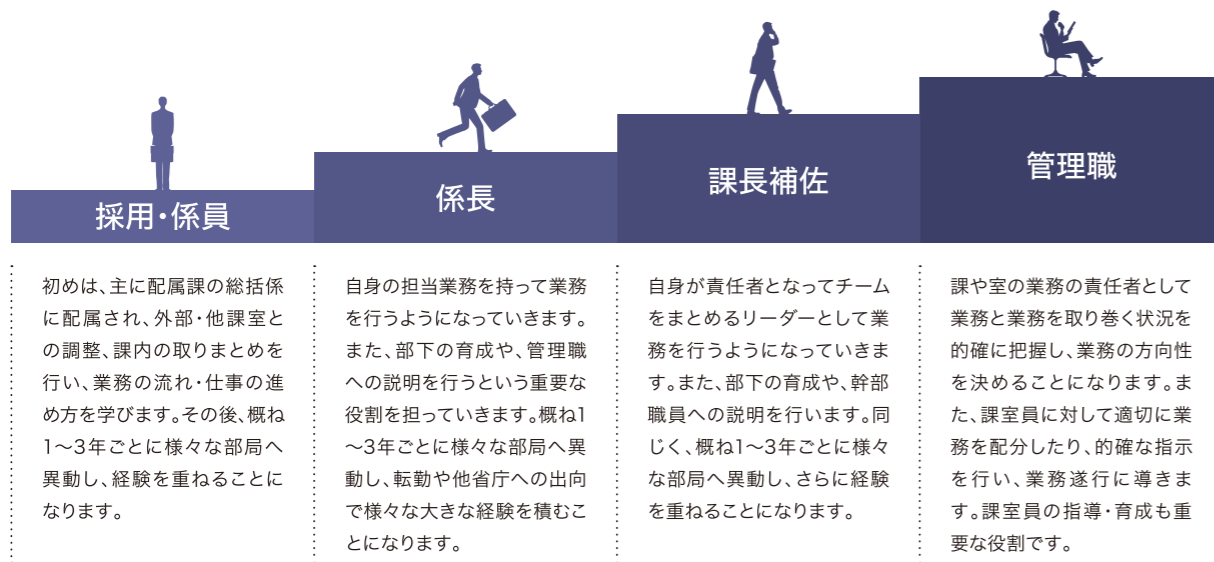


採用後のキャリアステップ

採用後、公正取引委員会の重要業務である事件審査業務を含め、約1~3年ごとに様々な部局において経験を積むことになります。このほか、公正取引委員会の本局・地方事務所間の転勤、海外大使館を含む他省庁への出向、国内外の大学院へ留学する機会も用意されています。このような様々な経験を積む中で、視野を広げるとともに、高い専門性を身に付けることを目指しています。

キャリアステップのイメージ



人事交流

他省庁での勤務を経験することにより幅広い経験を積むことができるよう、他省庁との人事交流を行っています。

出向先 | 内閣官房、内閣府、消費者庁、総務省、外務省、財務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、防衛省

海外における活躍の場

外務省に出向し、アタッシェとして在外公館で勤務することもあり、在アメリカ合衆国日本国大使館、在中華人民共和国日本国大使館、経済協力開発機構(OECD)日本政府代表部、欧州連合日本政府代表部に一等書記官などとして勤務しています。また、近年では欧州委員会競争総局や米国連邦取引委員会といった海外の競争当局やOECD事務局での勤務や、海外の大学院等に長期留学する機会などもあります(平成30年4月現在)。

給料はどれくらい?

給与については、各府省とも人事院で定めている規定に従って支給することとされています。総合職(大卒程度)の場合、初任給は、約22万円(東京都特別区内勤務の場合。法律の改正により、額が変動する場合があります。)です。この他に、期末・勤労手当(ボーナス)、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当等が支給されます。

ONE'S SENIOR

Message from
先輩からのメッセージ [総合職]



